椎の実

No.122
令和4年
３月31日発行

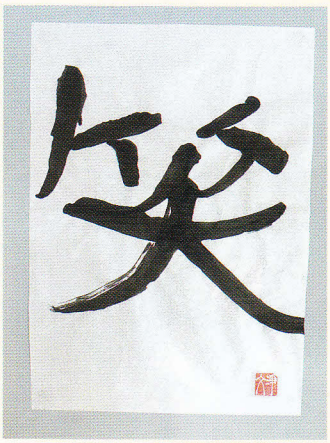
岐阜県手をつなぐ育成会 会報

～手をつなぐ育成会は知的障害をもつ人とその家族、支援者の会です～

椎の実ギャラリー

郡上市のみなさんの作品

「賀正」ウイングハウス利用者のみなさん



「笑」みずほ園　勝水（かつみず）　淨文（きよふみ）さん

生活介護の創作活動として制作した作品です。
新年を迎えるにあたって、みんなで４か月前から制作を始めました。
文字とトラの絵の縁取りに苦労しながら、根気よく、協力して制作しました。

「おじいちゃん」
みずほ園　青地香生子（あおちかおこ）さん

「合同ぬりえ」ウイングハウス利用者のみなさん

122号の主な内容

○東海北陸大会　静岡大会
○私の町の育成会　各務原市
○私の町のきらり人
○警察庁からのお知らせ
○ぎふのいいもの　大野町

表紙の作品募集中！あなたの作品の写真を送ってください採用された方には、クオカードをプレゼント！

大会報告

第53回
手をつなぐ育成会東海北陸大会
静岡大会

令和３年12月18日（土）　プラサ ヴェルデ（沼津市）

大会スローガン　「すべての人が地域で安心して暮らせる社会の実現」
～こどもの力と親の勇気が未来の地域をつくる～

本人部会　「わがまちじまん～オンライン」

本人部会ようす

紺野（こんの）　暁大（あきひろ）さん（23歳）　岐阜県手をつなぐ育成会から本人部会に参加されました。

色々な話が聞けて楽しかった。自分が話すことも楽しかった。

紺野　暁大さん（高山地区手をつなぐ育成会）

プロフィール

平成29年３月飛騨吉城特別支援学校高等部卒業。当初はA型事業所の就労を考えたがB型でトレーニングを受けて一般企業での就職をめざす。卒業後青空の作業所のB型を利用し、１年後移行支援事業所（同事業所運営）にステップアップ、働く力を身につけ平成元年９月にＪＡ飛騨営農センターに就職した。

仕事は野菜の出荷作業と環境整備。明るい性格で同僚は「紺野君が休みの日は寂しい」と話す。趣味はゲームで、晩酌を楽しみにしている。地元の古川祭りが大好きで山車を曳き太鼓を叩き、祭りには無くてはならない存在です。（お母さんの話では筋トレを頑張りかなり身体が引き締まってきたとか・・・）

これからも仕事を頑張って地域で楽しく暮らしていきたいと話しています。

おめでとうございます

東海北陸大会
静岡大会　表彰

障害者支援施設さわらび苑（各務原市）理事

杉山正明（すぎやままさあき）

「さわらび苑」は各務原市手をつなぐ育成会が設立運動をして平成12年に開設されました。（入所40人通所15人）杉山氏は、設立準備の時より会員と賛同者の中心になって活躍されました。その存在なくしては設立されなっかたもいえます。現在も理事長として活躍し施設の運営を支え続けています。

私の町の育成会

「みんなとおなじくできないよ」を学校へ寄贈

各務原　手をつなぐ・障害啓発キャラバン隊

優しさの輪が広がれば

各務原市手をつなぐ育成会は、知的障害のことを知ってもらい、優しさの輪を広げたいとの思いで啓発活動を実施しています。今回の寄贈いただく絵本「みんなとおなじくできないよ」は啓発活動の中で活用しているもので、障害のある「おとうと」について、小学生の「ボク」目線で分かりやすく書かれています。

この日、同会の大谷弘さんらが市役所を訪問。「障害を抱えた子たちが通常学級の子どもたちといかに交流していくかが大切です。この本を通して少しずつ優しさの輪が広がってほしいです。」と、浅野市長に本を手渡しました。

浅野市長は「この本を多くの人に読んでもらえるように啓発活動をしていきたいです。ありがとうございました。」とお礼の挨拶をしました。

〈各務原市のホームページより転載〉

高校生（きょうだい）の感想

聞いていて他人事と思えず涙が出てしまいました。私には知的障害の妹がいてずっと何をするか分からない妹が苦手でした。

障害はその子にしかないたった一つの個性だと捉えるようになりました。身内にいるからこそ、もっと深く障害のことを知りたいと思ったし話も自分のことかのように聞くことができました。

キャラバン隊の活動

特別支援教育アシスタント研修・就労移行事業所本人研修・小学校「総合の時間」の知的障害学習・高校の介護実習の事前学習・子育てサポーター向け研修・職場での差別解消研修等々どのような対象や年代にも合うプログラムを作り活動しています。

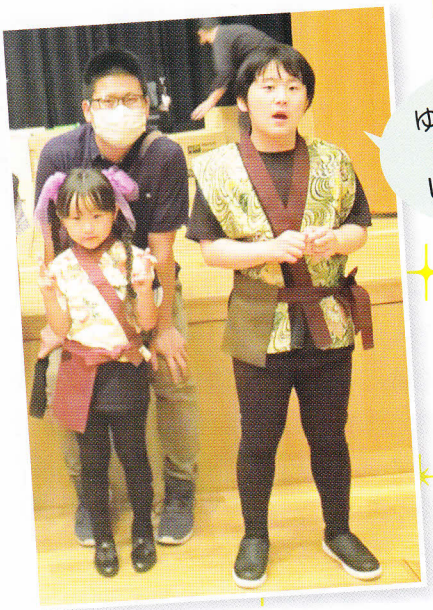
私の町のきらり人 Vol.3

雨谷楽風（あまがいらふ）さん　中濃特別支援学校

さをり織りを習い始めて３年が経ちました。
他にもピアノ、卓球、ボウリング、マラソンと色々なことに挑戦し、多方面で活躍しています。

とっても集中して取り組んでいます。
少しずつ出来上がっていく事が楽しいようです。
雨谷晴代（母）

最初はお母さんと一緒に織っていましたが、あっという間にやり方を覚えて、今ではほぼ一人で織りあげられるようになりました。
上達の速さにびっくりです。　さをり織の先生



ゆめぽっけで音楽活動もしています。

マラソンもがんばっています。

知ってほしい　私たちのこと vol.12

「心の輪を広げる体験作文」令和２年度入賞の作文をご紹介します。（内閣府に転載の許可をいただいております。）

令和2年度「心の輪を広げる体験作文」
佳　作

普通の子と違う子がいる所？

川崎市　神奈川県立中原養護学校高等部１年（当時）荒木（あらき）　唯穏（いおん）

「支援級って普通の子と違う子がいる所」支援級の教室を通るたびなんとなくそう思っていました。支援級の子が交流級のクラスにでると授業中ふざけていたり、一人でブツブツ何か言っていたり、一つの事に集中してしまうとその行動を止められずに注意を受けている子を何度か見ました。

私は小学校３年生の時に、発達障害と診断されました。意外に思うかもしれませんが、発達障害があると聞いても私はあまり驚きませんでした。自分が普通の人よりやる事がゆっくりだったり、勉強があまりできない事を分かっていたからです。苦手な事が多いせいで苦しんできたので、支援級に入って同じ障害をもった子と同じペースで授業を受けられる事がうれしかったです。

支援級に入ってしばらくして家庭の事情で転校しました。転校先の学校でイジメを受けました。私が近くの席に来るとわざと机を離したり、私の事を「障害?」と呼んだり、家庭科の授業の時、裁縫用の針を私に刺そうとしてくる子もいました。そういう事が嫌で私は不登校になりました。イジメの事を相談したかったのですが、しかえしされるのが怖くてできませんでした。その後、それが理由で自信を無くしてしまい、家族に暴力をふるうようになりました。そして中学校一年生の時、家族と心の距離をとるために施設に入所しました。初めての場所に来た不安があって、初めは入所している子とケンカをしたり、お世話をしてくれる職員さんとぶつかる事もありました。しかし、私は日々変わっていきました。怒られて悲しくて泣いた事もあったけど、それも今につなげる事ができました。一人で苦しんできたけど、今は一人ではありません。まちがえている事があったら教えてくれる人、悲しんでいたら話を聞いてくれる人、ケンカもしたけど本当は優しい人。沢山の人に出会い、私は成長できました。

「支援級って普通の子と違う子がいる所」と言いましたが、人はみんな違って同じ人など一人もいません。確かに普通の人より苦手な事が多かったりしますが、工夫をすれば出来る事だってたくさんあります。それに障害をもっている人の中には普通の人より優れている所がある人だっています。私は勉強は苦手だけど絵を描く事と文章を書く事が得意です。それに、私の周りにはスポーツが得意だったり、歌が得意だったりする人もいます。得意な事ばかりのばして他の事が全く出来なくなるのは良くないですが得意な事をのばしつつ苦手な事も工夫してできるようになればいいなと思っています。

この作文を書いていると昔の自分より今の自分の方が良い方に変わっているのが分かります。だから私と同じように、障害をもって苦しんでいる人も工夫したり、周りにサポートしてもらったりしてつらい思いをしないようになってほしいです。自分の事を嫌いだと思ってる人は、自分の良い所を見つけて自信をもってほしいと思いました。自信をもつだけで考え方が変わるので、障害を理由にいろいろな事を、諦めないでほしいです。

この作文への感想をお寄せください　E-mail　ikuseig@alpha.ocn.ne.jp

警察庁からのお知らせ

「好き」の気持ちを悪用する犯罪に注意！

「あの人のことが好き」という気持ち（恋愛感情）を使って相手をだまし、無理やり援助交際※をさせてお金を取り上げるなどの犯罪が起きています。知的障害のある人も被害にあっています。

※ここでいう「援助交際」とは、知らない相手とセックスをしてお金をもらうことで、「売春」ともいいます。

恋愛感情を悪用する犯罪の具体例

①恋人のふりをして相手をだます

→スマートフォンのアプリなどを使ってメッセージを送り、あなたのことが好きなふりをして近づいて、恋人として付き合っているように思わせます。

②「好き」という気持ちを悪用する

→「お金をくれれば別れないよ」、「好きなら援助交際してお金を稼いできて」などと言って、あなたからお金を取ろうとします。無理やり援助交際をさせられて、そのお金も取り上げられてしまいます。

③断ることができないようにする

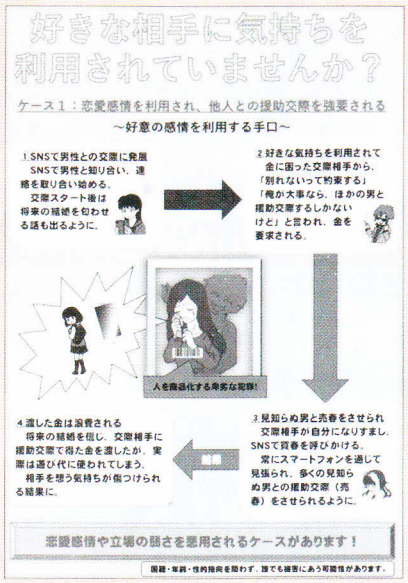
→お付き合いをやめようとすると、「家族や知り合いにばらす」などと脅され、援助交際を断ることができないようにしてきます。

被害にあったら警察へ

このような犯罪を「人身取引（性的サービスや労働の強要等）」といいます。

警察では、人身取引の取締りを強化しています。被害にあったり気になることがあったりしたら、**最寄りの警察署か警察相談専用電話「#9110」に相談してください。**

相手からお金を要求された時やお付き合いを断れない時には、**一人で悩まないで、家族や周りの人に相談してみましょう。**



警察庁ウェブサイトから

ご家族の皆さまへ

スマートフォンを持つ際は、出会い系アプリやコミュニティサイトの危険性についてよく話し合い、家庭内でルールをつくりましょう。

ご本人が誰にも言えないことも多いです。「普段と比べて様子がおかしい」など、周りの方が気付いてあげることがとても重要です！

詳しくお知りになりたい方へ

警察庁ウェブサイトでは、ほかにも様々な被害事例を紹介しています。

「人身取引」で検索又は右のQRコードで閲覧できます。

https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/hoan/jinshintorihiki/index.html

人身取引　検索

表紙の作品募集

椎の実が発行されてからおかげさまで今年で50年。平成29年109号から皆様のご協力で心温まる素敵な作品を表紙に飾らせていただいています。

ご家庭で、通所先の事業所で、学校で…。さまざまな場所で作られた作品をこれからも表紙に掲載していきたいと考えています。みなさんの作品をお待ちしています。採用された方には、クオカードをプレゼントいたします。

編集後記

今年もコロナに振り回された一年でした。育成会の活動も、様子を見ながら縮小したり、中止したり。先の読めない中、計画を立てるのも苦労しました。それでもなんとか、できることを模索しながら動いています。なかなか人と会いにくい日々ですが、会員同士のつながりを切らさないよう、困り事を見逃さないよう。動けるようになった時に迅速に動けるよう、準備期間と思ってアンテナ張って過ごしていきたいと思います。　（包子）

会員募集中

右の連絡先へ
お問い合わせください

困りごとなど
気軽にご相談
ください。

岐阜県手をつなぐ育成会

〒500-8309
岐阜市都通２−２　岐阜市民福祉活動センター １階
TEL　058−253-8062
FAX　058−254-9210
携 帯　090-6467-1971
障害者110番TEL　058−253-1881
E-mail　ikuseig@alpha.ocn.ne.jp
HPアドレス　http://ikuseig.qcweb.jp/ad
携帯メール　ikuseig110@gmail.com
フェイスブック　「岐阜県育成会」で検索
インスタグラム　「岐阜県手をつなぐ育成会」で検索

インスタグラム
QIF266

知的障がい・発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に

病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

このようなお困り事に心当たりがある方に…

障がいのある方とそのご家族へ
ぜんちの あんしん保険
少額短期健康総合保険（無告知型）2019年創設
・最高日額1万円
・個人賠償責任補償
・弁護士費用補償
・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ
ぜんちの こども傷害保険
権利擁護補償付傷害保険 2019年創設
・入院・通院を日額保障
・個人賠償責任補償
・トラブルに巻き込まれた際、弁護士がサポート

弁護士が全面的にサポート

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

ぜんち共済株式会社
関東財務局長（少額短期保険）第14号
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階
0120-322-150
平日9時～17時/土日・祝日・年末年始を除く
URL:http://www.z-kyosai.com/

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

【2021年4月作成21-TC00392】

取扱代理店（資料請求・その他お問い合わせ）
有限会社ファースト・アクション
TEL:058-295-0360（岐阜オフィス）
TEL:0574-28-3160（美濃加茂オフィス）

ぎふのいいもの

岐阜県内の事業所で障害のある人たちがつくっている「いいもの」をご紹介します

布製品・ぼかし
もみじの里

就労支援センターもみじの里は平成20年に授産所から移行し、就労継続支援Ｂ型事業所として大野町稲富に開所しました。

現在は、農作業や家事で大活躍する腕カバーや、おしゃれに持ち運びができるペットボトルカバー、プレゼントにも人気なカード入れなどの縫製品や、檜が香る木工パズル、生ごみを発酵堆肥に変えるぼかしの製作を行っています。縫製品はこの他にもエコたわしやなどもありますので、ぜひ一度ご覧ください。

販売は、もみじの里内の他にも町内の販売所でも購入していただくことができます。

■商品詳細

腕カバー	250円～400円	木工パズル	500円
ペットボトルカバー大・小	各300円	カード入れ	600円
エコたわし	100円	ぼかし(600ｇ)	200円

■問い合わせ先　社会福祉法人　大野町社会福祉協議会
就労支援センターもみじの里
電話 0585-34-1118　FAX 0585-35-3778

この会報は赤い羽根共同募金の配分金によって発行されています。